第３回 南部地区街づくり協議会 議事録（要旨）

１．開会あいさつ（並河市長）

前回までの協議会でご相談いただいた内容についてプロジェクトごとに整理させていただいた。本日は、委員の中で具体的に案件を進めていく方々を整理しながら、実施に向けて検討を進めていきたい。

【資料】「にぎわい循環・戦略マップ」について説明

【資料】「野村証券・増田元総務大臣資料（10 代ごとの人口割合）」について説明

２．事務局連絡（　資料確認、代理の紹介、追加資料の報告）

３．議　事

【以下、委員の発言要旨】

（１）南部地区の個々の取り組みについて

委員より、資料に基づき、県まちづくりコンシェルジュとの協働による柳本町まちづくりマップ作製の取り組みについて報告があった。また、環境経済部（産業振興課）より長柄駅開業 100 周年記念イベントについて報告があった。

（２）南部地区活性化プロジェクトの確認・整理について

〇全体確認をし、それぞれのプロジェクトについて推進委員とプロジェクトを担っていただく実施主体を決めていきたいと考えている。この場ではすべてを決められないかもしれないが、一旦ご説明をした上でコメントもいただき、次回までにリストを完成させたい。

【資料４　Ｎｏ．１「周遊観光拠点プロジェクト」について】

〇柳本のトレイルセンターにおいて物販を行うということで、県とも着実に協議を進め、特段問題のない形できている。特産品をＰＲする南部の一つの拠点として、また、天理駅前とも連動した周遊性の高いサイクルスポットとしての整備をしていきたい。また、運営については、天理大学との連携協定に基づき、できれば授業の一環として運営参加をしてもらいたいと考えている。

〇南部の物を中心としつつも駅前のショップの商品と連動させれば、ＰＲや商品ラインナップも充実してくるのではないか。また、【資料４　Ｎｏ．８「手ぶらでおかえりプロジェクト」】と関連して、自宅へ配送するサービスに加えて、購入手続きしておけば天理駅で同じ商品を受け取れる遠隔サービスの構築を検討している。

【資料４　Ｎｏ．２「物産高付加価値化モデル事業」について】

〇南部・天理駅周辺・高原地区でそれぞれ１件ずつ、既存製品のリノベーションを検討し特産品を生み出したい。うまくいけばもう少し拡大して取り組むことも考えたい。

○費用をかけてでも製品を良くしたいと考えている方がおられれば、市がそれに助成させていただくことに加えて、クリエーターとのマッチングを行わせていただきたいと考えている。

○ありふれたパッケージデザインでも少し工夫を加えるだけで良くなる製品がたくさんある。

○良い商品が生み出され、トレイルセンターを始め、東京そして海外で販売することができれば、身近な商品が良くなる良い実例となる。

【資料４　Ｎｏ．３「天理の味全国お届けプロジェクト」について】

○前回に委員からご意見いただいたふるさと納税（ふるさと宅配便）の推進について、関連性が高いこともあり、推進委員についてはＮｏ．２の方々が兼任ということでいかがか。Ｎｏ．２でどの商品が良いかを検討しながら、Ｎｏ．３で更に魅力を高められる商品を選定していきたい。

【資料４　Ｎｏ．４「大和・ちゃんちゃんプロジェクト」について】

○このプロジェクトについては、地元のご理解がないと進んでいかないと考えており、決して無理にどうこうというわけではない。

○先ほどの長柄駅 100 周年記念イベント資料にもあったが、大和神社の倭大国魂神を“日本神様界のツートップ”と表現すれば、そのいわれや歴史が若い世代にも伝わりやすい

○ご尽力いただいている県の文化財指定化に加えて、ちゃんちゃん祭に参加型の要素を加えられないか。ただし、地域の絆をしっかり維持できる範囲で検討しなければならない。

○先日、戦艦大和の慰霊祭が執り行われ、新聞にも大きく取り上げられていたが、以前に議会で呉と話をいただいていた海自との連携を再度進めていければと考えている。

○プロジェクトは結構かと思うが、我々委員だけでは決められない。

【資料４　Ｎｏ．５「灯りの魅力向上プロジェクト」について】

○来月、黒塚古墳周辺で柳灯会を行っていただくが、来年は是非、県のムジークフェストと連携させていければと考えている。地域の皆さまが楽しまれる場を大事にしつつ、外部向けの部分を作っていく。県事業と一緒にすることで県による広報ＰＲ効果も期待できる。

○地元の様々な思いがあるので、まず市が間に入って調整をしていただければ良いのではないかと思う。イベントを再考する前の関係者間の地ならしが必要である。

○ムジークフェストの趣旨は梅雨の閑散時期に街に賑わいを呼び込むというもの。開催は６月中旬～下旬で、柳灯会と時期が合わない。柳灯会とは分けて考えていけばどうか。柳灯会は住民の取り組みの発表の場と言う性格が強いので、それを潰すようなことは避けなければならない。

○地元の意向を尊重しながら県のムジークフェストとの連携を図る別の方向も検

討し、もう一度整理をさせていただきたい。

【資料４　Ｎｏ．６「日本版王家の谷へ行こうプロジェクト」について】

○先日、ＪＲ東海とＪＲ東海ツアーズから連絡があり、石上神宮、黒塚古墳、桜井の桧原神社、大神神社を案内してきた。ＪＲ東海は東京から関西への日帰りのツアーを企画しており、京都から更に一歩踏み込んだスポットとして奈良・天理を検討いただいている。

○これまで本市では“日本最古の官道”という発信を行ってきたが、“王家の谷”という表現など、旅行会社にＰＲしやすいわかりやすい表現を検討したい。

【資料４　Ｎｏ．７「ヤマトの源流」周遊ナビプロジェクトについて】

○ターゲット別のルート・案内サインの整理について、各周遊拠点からどのように動いてもらうかということを検討していく。看板やサイン等については県とも相談の上、まずは現状の再検証を行うことから始めていきたい。

【プロジェクターによる岡山県西粟倉村　通販サイト「ニシアワー」の事例紹介】

【資料４　Ｎｏ．９「施設を活かした道の駅プロジェクト」について】

○道の駅については先般、国交省の方針として既に施設の数は一定に達しており、利用者が多い所へ重点的に予算配分を行う旨が示された。市としては駐車場と黒塚古墳を緩やかにでも道の駅として利用できるようなエリアとして検討し、土地所有者、事業者へ当たっていかなければならないと考えている。

【資料４　Ｎｏ.11「織田のゆかり×空き町屋プロジェクト」について】

○先日、元織田藩の武家屋敷を見学させていただいた。江戸時代そのままではないが、非常に風情のある建物が空き家状態で残っている。改修して地域の皆さまと学生による“まちカフェ”を作る方向、事業者を誘致し所有者との間をつなぐ方向があるが、所有者のご意向を確認しながら、今後は両方の可能性を探っていきたい。

○道の駅物販機能と黒塚や崇神天皇といった文化遺産、秋永邸を組み合わせて拠点として強化を行えば、南部全体として使えるような拠点になりうるが、場所と事業者の確保が問題になってくる。今後も関心を持っている方がおられないか皆さまとアンテナを張りながら進めていきたい。

【資料４　Ｎｏ.12「先端技術と最古の融合プロジェクト」について】

○市の観光アプリを強化し、位置情報を使ったルートの案内機能等を活用した新しい歩き方の提案を検討していきたい。

○最近取り組まれているＡＲ（拡張現実）技術を活用して、天理市の“一番古い”という強みと最新の技術という切り口で企業へアピールできないか考えている。

○本学では、奈良市・奈良市観光協会と連携し若い世代の女性向けに“イケメン仏像マップ”やゲームになぞらえて観光資源を周れる“ナラクエ”マップの作成を進めている。何か楽しみの要素を入れて天理の古いものをＰＲできないか。

○天理には天理大学があり包括連携協定も締結しているが、これに関しては是非奈

良県立大学と一緒になって進めさせていただきたい。市としても引き続き企業への折衝を進める。

【資料　「じゃんじゃん市」について】

〇今年度のじゃんじゃん市において、地域に根差した特産的な食の輩出、浸透を目的に「じゃんじゃんグランプリ」を開催するが、その審査員にこの協議会委員から３名程度参加してもらうというのはどうか。街づくり協議会のＰＲにもなるのでは。

〇選出については調整させていただく。協議会としてもＰＲでき非常にありがたい。

【その他意見等】

〇天理駅前も含めて積極的に情報発信され、市民の方にも協議会のことを知っていただけるようになってきており、南部地区としても様々なプロジェクトが挙がってきているが、良く言えばバラエティ豊か、悪く言えば散漫と言う印象。市民の方が期待してワクワクするような方向性で求心力のある事業として取りまとめられれば一番良いのではないかと思う。

〇南部地区については、一から考えてプロジェクト名がようやく立ってきた中で、例えば、トレイルセンターがこう変わりますということがもう少し進んで見えてくれば、皆さまの期待が得られるのではないかと考える。具体的に～さんの製品が良くなると言った“絵姿”がまだ見えてきていないので、次回その次にはもう少し形を見せていきたいと思う。

〇前回、委員から天理のお土産についてお話があったが、先日市民大学で講演された春日大社の権宮司から、吉田二福堂の子福利餅（こうごりもち）の存在を聞いた。お茶にも合う非常に上品なおもちなので、今後の協議で取り上げていけないかと思い提案した。

〇非常にありがたいご意見。皆さまにおかれても是非、いい商品があれば協議会の場でご紹介いただき、情報の共有を図りたい。

４．本日のまとめ

本日は、これまで皆さんにいただいたご意見を基にプロジェクトを整理させていただいた。ご意見等がなければ、それぞれのカテゴリーで推進委員を固めさせていただき、それぞれでより具体的な協議を進めていきたい。プロジェクトすべてをとは思っておらず、この内３割でもうまくいけば良いという気持ちで、１個でも２個でも着実に進めていきたいと考えているので、ご協力をお願いしたい。

５．次回の日程と主な協議内容

次回第４回協議会は１０月中旬（10 日～20 日頃）に予定し、後日、日程調整を行う。

６　閉　会　－12：00－

以上。